ＤＳＸ取り付け説明書　for ＧＯＬＦ　Ⅴ　ＧＴＩ

サイドベンドの取り外し１

サイドベンドの、指で示している所にビスを　取り外します。

サイドベンドの取り外し２

残りはツメで固定されていますので、慎重に前方向に引き抜いて下さい。

ランプの取り外し

ランプは写真○印の３箇所で固定されています。　　ビス(T-20)を外し、ハロゲンバルブコネクターを外します。

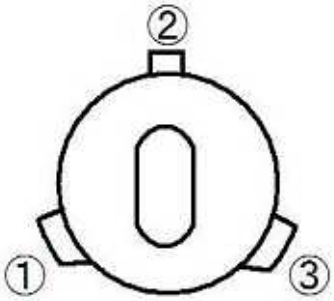
バーナーユニットの取り付け１

バルブは左に回すとロックが外れるので、まっすぐに引き抜きます。

バーナーユニットの取り付け２

バーナーユニットの取り付け３

ハロゲンバルブに付いているゴムパッキンを外し、キセノンバルブへ取り付けます。



バーナーユニットの取り付け4

バーナー図の②番のツメは取り付けやすくする為に、切削加工を施しています。

バーナーユニットの取り付け5

まっすぐにはめ込み、ロックがかかるまで右に回転させます。

固定1

上側○印のボルト(T-30)を利用してキャンセラーを、下側○印(穴が開いています)を利用してバラストを固定します。(推奨位置)

キャンセラーの固定

写真を参考にしながら、キャンセラー本体を　共締めして下さい。

バラストの固定

付属のM5ボルトを使用して穴に締めこんでいきます。
※押し込む様にして締めこんでください。

結線1

キャンセラーとバラストを接続します。バラスト側の赤カプラーに(+)(-)の表示がありますので、極性を間違えないように接続して下さい。

※結線の際に極性間違い(逆接続)は重大な事故の原因になる恐れがあります。結線項目の写真はよくご覧になり、十分に注意して作業を進めて下さい。

AXIS

結線2

純正FOGハーネスとキャンセラーを接続します。車両ハーネスの茶色線が(-)側になりますので、キャンセラーの黒線と対面するように接続して下さい。

※カプラーが逆になっている車両がありますので、必ず極性を確認して接続してくだ

結線3

◎接続したカプラーにはビニルテープ等をしっかり巻いておくと、浸水や接触不良などのリスクを最小限に防ぐことが出来ます。

点灯チェック

結線が全て完了しましたら、メーターパネルの中央に警告が出ていない事を、エンジンスタート直後と、FOGランプON時の両方で確認して下さい。

組み立て

取り外しとは逆の手順で組み上げていきます。

※稀ですが、年式や仕様により付属のキャンセラーが適応しない場合があります。　その際は弊社までその旨をお伝え下さい。　候補キャンセラーと無償交換させていただきます。

※逆接続による破損、もしくは使用の誤り、不当な改造等での点灯不良の場合には、弊社では一切の保証はいたしかねますので、御注意下さい。

※注　VW車両は、製造年や仕様が同じであっても、カプラー配列や電気制御のコンディションにバラツキがあることが確認されております。　キャンセラーやバラストの電源配線の逆接続は、商品だけでなく車両に重大な損傷を及ぼす可能性が御座います。　取扱説明書の画像と、お手元の取り付け車両の　配線色やカプラー形状を必ず御確認の上、接続してください。

キャンセラー適応不良の場合の多くは、点灯時に点滅したり、点灯はするが、球切れ警告が出る、及び片方のみ点灯しないなど　が確認されています。
メーター上に　FOG LAMP NOT WORK　の表示がでる場合、構成パーツののいずれかが破損している場合がございます。　その際は取版売店に御相談下さい。

AXIS